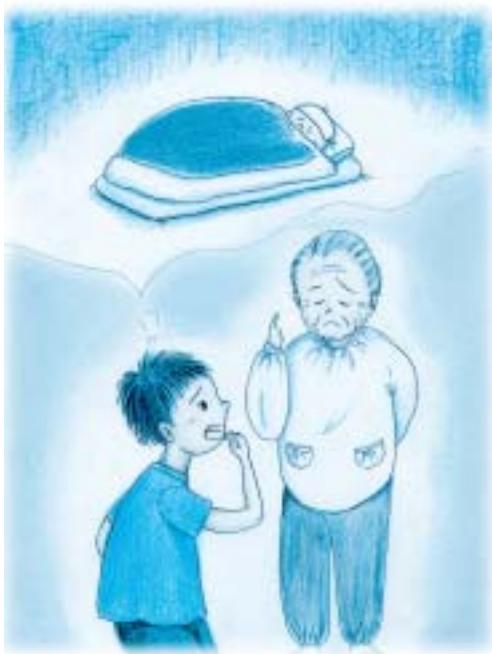


お話をうながす

第5回

おひさまが
大変だ!



ええ…おひさまが
大変だ!

だってさつま、近所のおばあちゃん
んがいんな事を言ってたんだもん。
「おばあちゃん、困った顔してどう
したの。」

「実はね、うちの『おひさま』の具
合が悪くてね。」

「風邪でもひいちやつたの。」

「違うんだよ。いつもなら一日4食
「みんなそのくらい食べるもんだよ。
それより、何で食べないかわかつ
たんだけどね…。」

「なんで?」

「どうも昨日の夜寒かったから、体
調を崩したみたいなんだよ。それ
に無農薬か、しっかり洗った物以
外を食べると命にかかるって事
をすっかり忘れててね。朝見たらピクリとも
動かなかつたのよ。」

「え！大丈夫なの？病院に連れて行つた方
がいしいんじゃないの？」

「さつき先生に来ても
らつたんだよ。そう
したら様子を見るし
かないってさ。」

おばあちゃん、よく

元気に食べるんだけどね、ぜんぜ
ん食べないんだよ。」

「えつ、1日4食は食べすぎじゃな
いの？」

「みんなそのくらい食べるもんだよ。
それより、何で食べないかわかつ
たんだけどね…。」

「なんで？」

「あらそう。」

「え、お母さんまで、なんでそんな
に冷静なの。」

「よくある」とよ。

「ええー！」

『おひさま』つていふのはね、瑞穂町の方言で『蚕』の事を言つてよ。

毎年何万匹も育ててているから、全
部無事に育てるつていつのはなか
なか難しいのよ。」

あーそうなんだ。僕はてっきり、
人間の子どもの事だと思つちゃつた。
でも蚕さん、みんな無事に育つて
くれるといいな。

こんなに冷静でいられるな。命に
かかわる問題なのに。そうだ、お
母さんに相談してみよう。

「おかあさーん！」

「そんない慌てて、どうしたの。」

「近所のおばあちゃんのと」の『お
ひさま』が死んじゃいそんなんだ
つてー」

「あらそう。」

「え、お母さんまで、なんでそんな
に冷静なの。」

◆字数は400字詰め原稿用紙1
～2枚程度です。

◆瑞穂町に在住、在勤、在学の方
ならどなたでも結構です。
(ペンネーム可)

創作童話募集

編集後記

新体制の町議会、そして議
会だより編集委員会がスター
トして、早くも3カ月が経過
しました。新たな委員での編
集作業は、今号が最初となり
ます。議会で話し合われた内
容を解りやすく、簡潔・明瞭
に町民の皆様に伝えてまいり
ます。

ご感想やご意見を気軽に
寄せ下さい。

(齋藤 成宏)

原作：小林 芳成（瑞穂町在勤）
絵：草野美奈子（箱根ヶ崎在住）



資源有効利用のため本紙は再生紙(100%)を使用しています